

令和5年度 館林市立第一中学校 学校評価羅針盤 (令和5年5月8日現在)

評価対象	評価項目	具体的数値項目
	※網掛けは昨年度の課題を踏まえた重点項目	※ ■印は教職員, ●印は生徒, ★印は保護者 ※下線は不登校対策に関わる設問
1. 教育課程・学習指導	(1) 学校の教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施されるとともに見直しが適切に図られているか。	■資質・能力の育成に向けた教育課程の見直しを行っている教職員が80%以上である。 ●授業中、自分で考えたことを伝えたり、友達と話し合いをしたりしていると答える生徒が80%以上である。 ★お子さんは、自分の考えをまとめたり、考えたことを相手に伝えたりする力が身に付いていると答える保護者が80%以上である。
	(2) 児童生徒の学びの実態を把握し、それを踏まえて教育課程が編成され、PDCAサイクルに基づいて適切に授業改善されているか。	■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めている教職員が90%以上である。
	(3) 児童生徒に教科等における資質・能力が身に付けられるよう、適切な評価や指導方法の改善に努めているか。	■適切な評価や指導方法の改善により、生徒に、教科等における資質・能力を身に付けられるよう努めている教職員が80%以上である。 ●授業が「分かる」「楽しい」と答える生徒が80%以上である。 ★お子さんは、「授業が分かりやすい」、「授業が楽しい」と感じていると答える保護者が80%以上である。
	(4) ICT機器を効果的に活用した授業が行われているか。	■ICT機器を効果的に活用した授業づくりに取り組んでいる教職員が80%以上である。 ●授業中、コンピュータなどを使って学習を進めていると答える生徒が80%以上である。
	(5) 家庭学習においてICT機器を活用する機会を設けているか。	■家庭学習において、スタディサプリで課題配信を行うなど、ICT機器を活用する機会を設けている教職員が80%以上である。 ★お子さんは、家庭学習でICT機器を使うことがあると答える保護者が80%以上である。
	(6) 各種調査結果から生徒の実態を把握し、指導に生かしているか。	■全国学力・学習状況調査やNRT、QUの結果を指導に生かしている教職員が80%以上である。
	(7) 家庭で自主的に学習をする習慣が身に付けられるようにするために、宿題や家庭学習の仕方等の指導を行っているか。	■家庭で自主的に学習をする習慣が身に付けられるようにするために、宿題や家庭学習の仕方等の指導を行っている教職員が80%以上である。 ●家庭で予習や復習などの家庭学習を週平均して1日1時間以上取り組んでいる生徒が80%以上である。 ★お子さんが、自主的に家庭学習や読書をする習慣が身に付いていると答える保護者が80%以上である。
	(8) 道徳教育の要として「特別の教科 道徳」の授業づくりに努めているか。	■道徳で、生徒が自分のこととして考えられるような授業づくりを行っている教職員が80%以上である。
2. 生徒指導	(1) 基本的な生活習慣や適切な言葉遣いを身に付けた児童生徒を育成するための指導が行われているか。	■基本的な生活習慣や適切な言葉遣いを身に付けられるよう、適切な指導に努めている教職員が80%以上である。 ●進んであいさつや返事する、学校の決まりや約束を守っていると答える生徒が80%以上である。 ★お子さんは、進んであいさつをしたり、場や相手に応じた言葉遣いができたりしていると答える保護者が80%以上である。
	(2) いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいるか。	■いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいる教職員が100%である。 ●先生は、いじめがないように取り組んでいると答える生徒が100%である。 ★学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めていると答える保護者が100%である。
	(3) 教職員全体で児童生徒の情報を共有し、生徒指導に取り組む体制が整備されているか。	■SOSの出し方教育を適切に実施し、生徒の悩み解決や自殺等の防止に努めている教職員が90%以上である。
	(4) 教師と児童生徒、児童生徒間での好ましい人間関係づくりに努めているか。	■教師と生徒、生徒間での好ましい人間関係づくりに努めている教職員が80%以上である。 ●先生は、いじめがあった時や困った時に相談にのってくれると答える生徒が80%以上である。 ●学級が居心地がよいと答える生徒が80%以上である。 ★お子さんは、友だちとよい人間関係を築けており、楽しく学校生活を送れていると答える保護者が80%以上である。
	(5) 教職員間やスクールカウンセラーなどとの連携協力の下で生徒指導が行われているか。	■生徒の悩みや問題などの状況に応じて、生徒指導担当や養護教諭、スクールカウンセラーなどとの連携が図られている教職員が80%以上である。 ★学校は、子どものことで連絡や相談がしやすいと答える保護者が80%以上である。
3. キャリア教育	(1) 教職員全体で組織的にキャリア教育に取り組んでいるか。	■生徒が自らの将来の夢や希望について考えられるよう、キャリア教育の実践に取り組んでいる教職員が80%以上である。 ●将来の夢や希望について考えていると答える生徒が80%以上である。 ★学校は進路学習を通して、お子さんに将来の夢や希望について考えさせる指導を行っていると答える保護者が80%以上である。
	(2) 保護者などとの連携の下で、キャリア教育が行われているか。	■親子で生徒の将来の夢や希望について話し合えるよう、家庭への働きかけを行っている教職員が80%以上である。 ●★将来の夢や希望・卒業後の進路について、現在の学年になってから家族で話し合っている生徒や保護者が80%以上である。
	(3) 進路情報が適切に収集され、生徒や保護者に対して発信されているか。	■将来の夢や希望・進路の情報提供に努めている教職員が80%以上である。 ●★学校は、将来の夢や希望・進路などに関する情報提供に努めていると答える生徒や保護者が80%以上である。
4. 健やかな体づくり・学校安全・危機管理	(1) 自校の実態を踏まえた体力向上プランが作成され、体力向上に向けた具体的な取組(児童生徒の身体活動量の増加等)が行われているか。	■自校の実態を踏まえた体力向上プランを作成し、それに基づいて、体力向上に向けた具体的な取組(生徒の身体活動量の増加等)を行っている教職員が80%以上である。 ★学校は、保健体育の授業や部活動などを通してお子さんが進んで運動に取り組む対策を行っていると答える保護者が80%以上である。
	(2) 食に関する指導の全体計画が作成され、学校給食と関連付けて効果的に実施されているか。	■食に関する指導の全体計画を作成し、学校給食と関連付けて効果的に実施している教職員が80%以上である。 ●朝食をしっかりと食べるなど、健康的な食生活を送っている生徒が80%以上である。 ★学校は、食に対する指導を効果的に行っていると答える保護者が80%以上である。
	(3) 学校保健計画が作成され、それに基づいて健康診断や、感染症予防等も含めた保健教育が適切に行われているか。	■健康診断や、感染症予防等も含めた保健教育が適切に行われていると答える教職員が80%以上である。 ●新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、新しい行動様式を意識して生活している生徒が80%以上である。 ★学校は、健康診断の結果を家庭と共有し、お子さんの健康の保持増進に努めるとともに、感染予防対策等を適切に行っていると答える保護者が80%以上である。
	(4) 学校安全計画や危機管理マニュアルが作成・見直しされ、自然災害、交通安全、不審者対応、学校事故などの対策について、安全教育が適切に行われているか。	■自然災害、交通安全、不審者対応、学校事故などの対策について、安全教育が適切に行われていると答える教職員が80%以上である。 ●交通ルールを守り安全に通学している生徒が80%以上である。 ●学校や地域で災害(地震・火事・水害等)が起きたときや不審者が侵入してきたとき、どのように行動すればよいか分かる生徒が80%以上である。 ★学校は、家庭や地域と連携して、交通安全指導や通学路の点検・パトロールを行うとともに、火災や自然災害、不審者対策など、お子さんの安全対策を行っていると答える保護者が80%以上である。
	(5) 部活動を通して、生徒の健やかな心身の育成が図られているか。	■生徒が部活動を通して、運動に積極的に取り組める環境の確保に努めている教職員が90%以上である。 ●保健体育の授業や部活動などの運動に、積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。

5 特別支援教育	(1) 特別な支援を必要とする児童生徒の実態把握に努めているか。	■特別な支援を必要とする生徒の実態把握に努めている教職員が80%以上である。
	(2) 個々の児童生徒の実態及び配慮などの内容を共通理解するための校内支援体制が適切に整備されているか。	■特別な配慮を必要とする生徒の情報を共有し、適切な指導の充実が図られるよう努めている教職員が90%以上である。
	(3) 特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、個別の指導計画が作成され、指導に生かされているか。	■特別な配慮を必要とする生徒に対して、個別の指導計画を作成し、適切な指導に努めている教職員が80%以上である。
	(4) 特別な配慮を必要とする児童生徒に対して、医療、福祉など関係機関との連携が適切に図られているか。	■特別な配慮を必要とする生徒に対して、個別の教育支援計画を作成し、保護者や関係機関と連携しながら支援に努めている教職員が80%以上である。
6 組織運営	(1) 教育委員会の示す明確な教育方針などに基づき、学校の課題等も踏まえ、教育目標を設定し、教育活動や学校運営を行っているか。	■学校教育目標や学校経営方針を理解し、その実現に向け、管理職・教職員が一体となって努力している教職員が80%以上である。
	(2) 校務分掌や主任を中心とした各学年、各教科間など、組織的・計画的な運営が図られているか。	■校務分掌の役割分担や仕事内容の明確化が図られ、組織が機能していると答える教職員が80%以上である。
	(3) 管理職や教職員間で連携・協力しながら、学校運営に努めているか。	■日々の教育活動における問題意識について、管理職や教職員間で気軽に相談し合えるとともに、連携・協力を努めている教職員が80%以上である。
	(4) 教職員が自己目標の達成に向けて、主体的に日々の教育実践に取り組んでいるか。	■設定した自己目標の達成に向け、主体的に日々の教育実践に取り組んでいる教職員が80%以上である。
	(5) 職員会議の議題の精選や進行の工夫などにより、職員会議の効率化が図られているか。	■職員会議や学年会議の議題の精選や進行の工夫等により、会議の効率化が図られていると答える教職員が80%以上である。
	(6) 学校行事等の精選などにより、働き方改革が図られているか。	■学校行事などの精選に努めていると答える教職員が80%以上である。 ■業務改善に努め、勤務時間を意識している教職員が80%以上である。
	(7) 部活動に係る方針等の徹底と適正化に向けた取組を行っているか。	■部活動に係る方針等の徹底と適正化に向けた取組を進めている教職員が80%以上である。
	(8) 学校評価の結果が学校運営の改善に活用されているか。	■PDC Aサイクルを確立して学校評価を行い、改善策を具体化していると答える教職員が80%以上である。
	(9) 校内服務規律委員会を定期的に開催し、教職員の服務規律確保に努めているか。	■校内服務規律アンケートなどを定期的実施し、常に教職員の服務規律確保に努めていると答える教職員が80%以上である。
	(10) 各種文書・データなどは、各分掌で適切に管理されているか。	■各種文書・データなどは、各分掌で適切に管理されていると答える教職員が80%以上である。
	(11) 個人情報適切に管理されているか。	■個人情報が適切に管理されていると答える教職員が80%以上である。
7 研修	(1) 見通しをもって効果的に研修ができるように校内研修組織が整備されているか。	■見通しをもって効果的に研修ができるように、校内研修組織が整備されていると答える教職員が80%以上である。
	(2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた校内研修の推進が図られているか。	■「はばたく群馬の指導プランII」などを参考にするなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた校内研修の推進が図られていると答える教職員が90%以上である。
	(3) 校内研修の課題が適切に設定され、実施されているか。	■自校の喫緊の教育課題に向けた校内研修が計画的に実施されていると答える教職員が80%以上である。
	(4) 校内・校外研修での成果が、日常の教育実践に生かされているか。	■校内・校外研修での成果が、日々の教育実践に生かされていると答える教職員が80%以上である。
8 家庭や地域社会との連携・協働	(1) 学校の情報発信に努めているか。	■保護者や地域に対して、学校の情報発信に努めていると答える教職員が80%以上である。 ●学校からのお便りを家の人に渡している生徒が80%以上である。 ★学校はHome&School等を通して、必要な情報や子どもの様子を分かりやすく伝えていくと答える保護者が80%以上である。
	(2) 保護者や地域住民は学校運営に積極的に参画し、協力しているか。	■保護者や地域に対して、授業公開や学校行事などの諸行事に参加してもらえるよう努めていると答える教職員が80%以上である。 ★学校行事(入学式など)や保護者説明会などに進んで参加していると答える保護者が80%以上である。
	(3) 家庭訪問や学級懇談会などを通して、保護者との連携に努めているか。	■家庭訪問や学級懇談会、三者面談などを通して、保護者との連携に努めている教職員が80%以上である。 ★学校は、保護者説明会や家庭訪問、面談等を通して、保護者との連携に努めていると答える保護者が80%以上である。
	(4) 事故や問題が生じた際、保護者への連絡・対応が迅速かつ的確に行われているか。	■事故や問題が生じた際、保護者への連絡・対応を迅速かつ的確に行っている教職員が90%以上である。 ★学校は、事故や問題が生じた際、保護者への連絡・対応を迅速かつ的確に行っていると答える保護者が80%以上である。
	(5) 授業などに保護者や地域住民などの人材を効果的に活用しているか。	■教育活動で、保護者や地域住民などの人材を効果的に活用していると答える教職員が80%以上である。 ★学校は、授業や行事などの充実のため、保護者や地域住民、外部講師などの人材を効果的に活用していると答える保護者が80%以上である。
	(6) 学校評議員会や学校運営協議会を組織し、家庭や地域社会との連携・協働による活動内容の工夫・見直しが行われているか。	■学校運営協議会を組織し、家庭や地域社会との連携・協働による活動内容を工夫したり、見直しをしたりしていると答える教職員が80%以上である。 ●地域の行事やボランティア活動に進んで参加している生徒が80%以上である。
9 施設設備	(1) ICTを日常的に活用した授業を実施するための整備が図られているか。	■ICTを日常的に活用した授業を実施するための整備が図られていると答える教職員が80%以上である。 ★学校は、ICTを日常的に活用した授業を実施するための整備に努めていると答える保護者が80%以上である。
	(2) 校務の効率化を図るための情報整備が図られているか。	■校務の効率化を図るために情報整備に努めている教職員が80%以上である。
	(3) 学校の施設・設備の点検が定期的に行われ、児童生徒が安全に活動するための対策を具体的にしているか。	■学校の施設・設備の点検を定期的に行い、生徒が安全に活動するための対策を具体的にしていると答える教職員が90%以上である。 ●学校は学校の施設・設備が安全に使えるように、整備・修繕(修理)されていると答える生徒が80%以上である。 ★学校は、施設の管理や安全対策を行っていると答える保護者が80%以上である。